

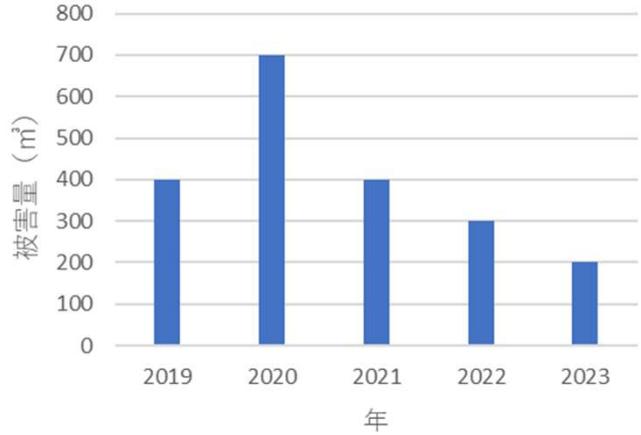
油断禁物！近県で被害増加！

マツノマダラカミキリがマツノザイセンチュウを媒介することで広がるマツ材線虫病(通称マツ枯れ)。毎年林野庁では、前年の被害量を集計し、公表しています。今回はそのデータを基に、最近のマツ枯れの動向をご紹介します。

富山県内のマツ材線虫病による被害は、ここ2～3年減少傾向にあります(右上グラフ参照)。全国的には、昭和54年をピークに被害量は減少傾向にありますが、令和5年は前年より増加しています(下グラフ参照)。

県別の被害量を見てみると、令和5年に前年より被害が増加したのは、49都道府県中23府県でした。このうち、被害材積が1万m³以上に上っているのは、岩手、秋田、山形、福島、新潟、長野、山口、沖縄の8県です。また、被害量の対前年度比が150%以上となったのは、青森(190%)、山形(236%)、新潟(274%)、

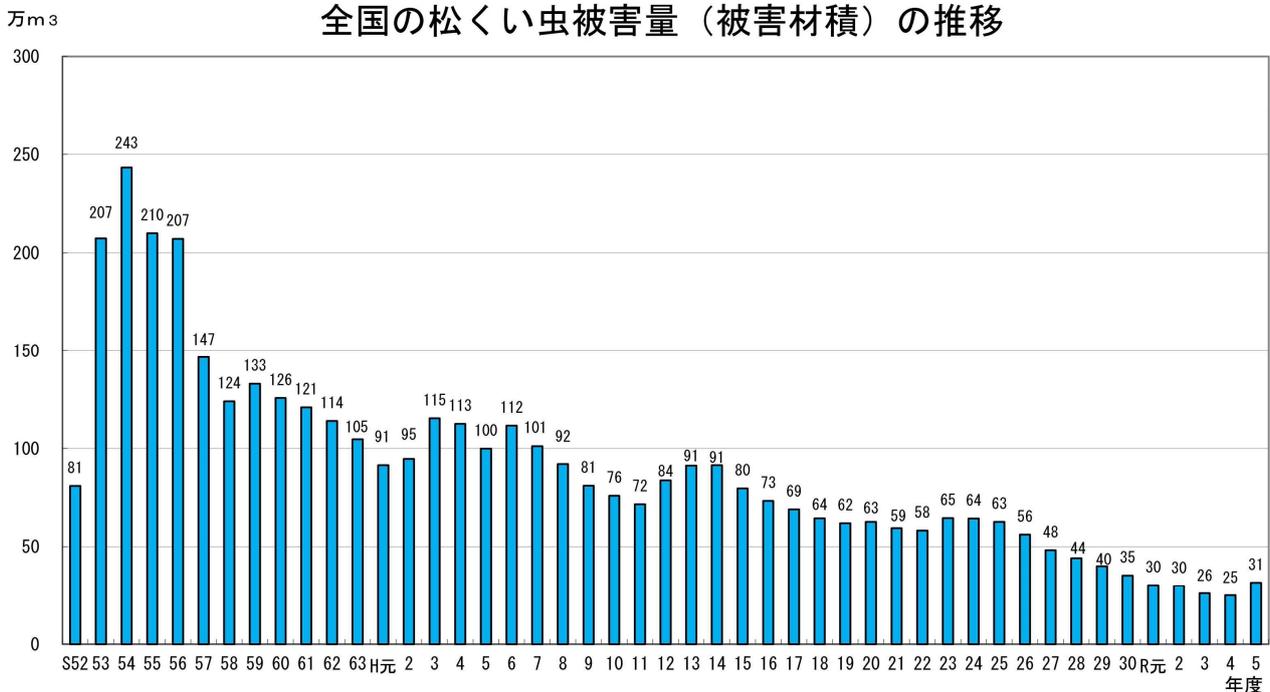
富山県内のマツ材線虫病による被害材積の推移



宮崎(260%)、沖縄(350%)の5県です。青森、秋田、山形、新潟と本州北部の日本海側で被害が拡大していることがわかります。富山県では被害が減少傾向にありますが、隣接する新潟、石川、長野、岐阜ではいずれも被害が増加しており、油断は禁物であると言えます。

マツ枯れを予防するために、ぜひ樹幹注入剤 グリンガードシリーズをご利用ください。

全国の松くい虫被害量(被害材積)の推移



製品紹介

グリーンガード・NEO

7年の効果持続期間



- 樹幹注入剤の中でもトップシェアの実績を誇る「グリーンガード」シリーズ
- 「グリーンガード・NEO」は、従来品「グリーンガード」「グリーンガード・エイト」よりもコンパクトで、また寒冷地でも問題なく施工できます。
- 樹体に直接注入するので、ドリフト（飛散）などの心配がありません。
- 一度施工すると予防効果は7年間持続します。

- 内容成分：酒石酸モランテル 20%
- 毒性：普通物
- 包装：90ml/本、50本入り/ケース

作物名	適用害虫名	使用時期
マツ	マツノザイセンチュウ	マツノマダラカミキリ 成虫発生3ヶ月前まで

使用量	
胸高直径（樹幹部）	薬量
10～15cm	90ml
15～20cm	135ml
20～25cm	180～270ml
25～30cm	270～360ml
30～35cm	360～450ml
35～40cm	450～540ml

※病気などで弱っている松へのグリーンガードの施工は不適です。

※すでにマツ材線虫病に罹患しているマツには、施工しないでください。

※剪定されている庭園のマツに対しては、通常の使用量の6割程度で施工してください（薬害の恐れ）。

※剪定されている庭園のマツには、グリーンガード・エイトがおすすめです（予防効果6年間持続）。

※40cm以上は5cm増すごとに
0.5～1.5アンプルを順次増量

ネマバスター

マツを傷つけずにマツノザイセンチュウを防除



- マツの周りに土壌灌注処理する薬剤で、マツを傷つけずにマツノザイセンチュウを防除できます。
- 浸透移行性にすぐれ、有効成分は根系から樹体内に速やかに吸収移行し、マツノザイセンチュウの運動を阻害、増殖を阻止します。
- 樹幹注入剤ではないので、マツの樹脂量に左右されずに処理ができます。
- 庭園松等の、強く剪定されたマツに対しても使用できます。
- 効果の持続期間は、現在のところ1年まで確認しています。

- 内容成分：ホスチアゼート（PRTR・1種）30.0%
- 毒性：劇物
- 包装：1L/本、4本入り/ケース

作物名	適用害虫名	使用時期	希釈倍数	使用液量	使用方法
マツ	マツノザイセンチュウ	マツノマダラカミキリ 成虫発生2～3ヶ月前まで	50倍	樹の胸高直径に応じて 5～1cm 6L 10～15cm 8L 15～20cm 12L 20～25cm 18L 25～30cm 26L 30～35cm 38L 35～40cm 52L 40cm以上では直径5cm 増すごとに18～30Lを順 次増量	土壌灌注
せんりょう	ネグサレ センチュウ	生育期	1000倍	0.5 L/株 (ただし2.5 L/m ² まで)	株元灌注
樹木類		移植前		—	10分間 根部浸漬

取扱い・お問合せは—